

デーリー東北
2019年(令和元年)6月17日(月曜日)(14)

首都圏

だより

6月の環境月間に合わせて環境省は12日、東京都内で「地域環境保全功労者」の表彰式を開き、八戸工業大名誉教授の熊谷浩二さん(71)川都内在住の功績をたたえた。

熊谷さんは地盤環境工学が専門で、産業廃棄物処分場の建設技術について長年研究し

八工大名誉教授 熊谷さん

地域環境保全功労者に

環境省が表彰式



表彰状を手にする熊谷浩二さん

てきた。こうした知見を生かして、2008年から10年にわたり、青森県環境審議会委員(うち会長4年)を務めるなどし、田子町と三戸市にまたがる県境産廃不法投棄問題といった難題に取り組んできた。

1999年に同大に着任して間もなく県境産廃問題が発覚。熊谷さんの歩みは、全量撤去を経て原状回復を目指す現在までの歴史とそのまま重なる。表彰式後、熊谷さんは「負の遺産対策は、新しいことを生み出すのではなく、ゼロに戻すことが目標。縁の下の力持ちの研究が表彰されてうれしい」と笑顔で話した。本年度の同功労者は、熊谷さんを含め全国の55個人・団体。県内では青森市の1団体も表彰された。

(藤野武)